



令和8年4月発行

発行：香川医療生活協同組合
高松協同病院

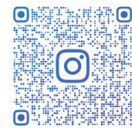
発行者：院長 北原孝夫

編集：高松協同病院 広報委員会

H P: <https://t-kyodo.com/>

新人紹介 新しい仲間をご紹介します!!

①お名前 ②職種 ③出身地 ④趣味 ⑤特技



TAKAMATSU_KYUUDOU_HOSPITAL

高松協同病院入職



- ① 杉本 啓介 (すぎもと けいすけ)
- ② 医師
- ③ 徳島県
- ④ バッティングセンターに行くこと
- ⑤ 走ると左膝が痛くなります

地域のみなさまの力になれるよう頑張ります。



- ① 下浦 由起子 (しもうら ゆきこ)
- ② 管理栄養士
- ③ 香川県
- ④ 散歩
- ⑤ 手抜き料理

頑張ります。



- ① 濱本 春樹 (はまもと はるき)
- ② 看護師
- ③ 香川県
- ④ ダーツ・釣り・ランニング
- ⑤ ソフトテニス

患者様に寄り添った看護を行えるように、これからたくさん
のことを学ばせていただきます。よろしくお願いします。



- ① 入谷 留夏 (いりたに るか)
- ② 看護師
- ③ 京都府
- ④ ネコと遊ぶ・アウトドア (川・海)
- ⑤ すぐ寝れる

よろしくお願いします。

介護支援センター協同病院入職



- ① 前田 祐奈 (まえだ ゆうな)
- ② 理学療法士
- ③ 香川県
- ④ ガチャガチャ
- ⑤ たくさん食べること

誰からも信頼される理学療法士になれるよう頑張ります。
よろしくお願いします。



- ① 三宅 加奈子 (みやけ かなこ)
- ② 介護支援専門員
- ③ 香川県
- ④ 庭の手入れ
- ⑤ 整理整頓

利用者さんのために頑張ります。

物理療法に関する院内研修会

伊藤超短波株式会社より講師をお招きし、物理療法に関する院内研修会を開催しました。当日は当院の療法士15名が参加し、講義と実技を通して臨床での電気刺激の活用を学びました。

研修では低周波治療器「イトーES-5000」を用い、立体動態波を中心に、鎮痛や機能改善、組織再生効果への期待、自律神経調整（不眠・抑うつを含む視点）といった目的に対し、刺激選択と臨床判断の考え方を整理しました。実技では筋緊張の促通・抑制を体験し、数分で変化が現れる場面もあり、参加者からは驚きの声上がるなど、理論と実践がつながる学びとなりました。今後も教育研修部として、得られた知見を日常臨床に活かせるよう研修機会を継続して企画してまいります。



回復期リハビリテーション病棟協会 第47回研究大会

鳥取県米子市で回復期リハビリテーション病棟協会第47回研究大会が開催されました。鳥取は香川に比べ、高齢化が進んでおりその対応に直面しています。地域の医療や生活を守るために回復期リハビリテーション病棟が果たす役割について、熱い議論を聴くことができました。お昼のセミナーでは、食事の部門に参加し嚥下調整食の試食も行いました。患者さんがいつまでも楽しく食事ができるようこの分野も強化していきたいと思いました。

春の散歩

4月初旬にリハビリテーションの一環としてリハスタッフ同行で春日川土手沿いへ桜の花見に行きました。桜は満開で2日目・3日目は雨の影響で少し肌寒い気候でしたが、春の訪れを感じながら穏やかな時間を過ごすことが出来ました。患者様からは「外の空気を吸うのは気持ちが良い。」「久しぶりに季節を感じられた。」「病院の中ばかりで河川敷の桜が見れて気分転換になった。」「入院中に桜を見ながら紅茶や和盆を楽しめるとは思わなかった。」と言った嬉しい声が聞かれ、自然の中での歩行訓練はいつもと違い楽しみながら取り組むことが出来ました。普段とは違う環境のリハビリは心も体にも良い刺激になり、意欲向上に繋がる貴重な機会となりました。今後も患者様が楽しみながら、リハビリテーションに取り組めるよう努めていこうと思います。



2025年度 高松協同病院 回復期リハビリテーション病棟 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1日平均入院数	86.0	84.2	81.3	78.6	84.0	85.1
平均在院日数(日)	70.7	65.0	64.8	60.0	85.7	63.6
在宅復帰率(施設含む)	93.5%	88.6%	93.8%	92.6%	76.9%	93.3%
単月実績指数	52.8	48.6	59.5	58.6	51.2	55.9

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1日平均入院数	84.6	84.2	84.9	85.3	84.9	82.3	83.8
平均在院日数(日)	71.9	72.2	73.2	65.1	75.6	68.8	69.7
在宅復帰率(施設含む)	100.0%	95.8%	91.7%	93.8%	100.0%	100%	93.3%
単月実績指数	54.9	62.6	53.9	56.1	57.4	59.7	55.9

2025年度前半は病棟内での新型コロナウイルス感染症の集団感染などあり運営に一定苦労しました。しかし昨年後半から本年3月まで、インフルエンザの大流行があったり新型コロナウイルス感染症の感染も完全には収まらない中、病棟内にそれらを持ち込ませることなく稼動することができました。物価上昇や人員確保など様々な課題が多くありながらも、実績指数は高い水準を維持できております。今後も平均在院日数を更に短縮できるような努力も含めて、質が高く効率的でかつ安全な入院リハビリテーション医療を実践して参ります。

院長 北原孝夫

» 2025年度第10回「1職場1HPH作品展」

全体朝礼にて、各受賞職場へ表彰状と副賞が授与されました。

昨年に引き続き、管理栄養室の『野菜あと100gで元気アップ』が最優秀賞を受賞しました。

当病院開催の健康まつりの来場者にアンケートを実施し、野菜を摂取することで得られる効果や、香川県民が不足している「野菜100g」をフードモデルで展示し、実際の量を理解してもらったものでした。

今後も健康づくり活動の増進に努めていきます。

※HPHとは、Health Promoting Hospitals & Health Services (健康増進活動拠点病院)の略です



» 高校生看護体験



3月に高校生看護体験を行いました。

2日間で当院には20名、法人全体では約90名が参加されました。

血圧測定や聴診器で呼吸音を聴いたり、手洗いチェッカーで洗い残し部分を確認したり、注射器操作の体験など

を行いました。

参加された学生さんからは、「高松協同病院は患者さんのリハビリをやっている、それぞれの患者さんに向き合っていることが分かり、とてもいい環境だなと思いました。看護師という仕事は誰かに向き合って支えるサポートをしている仕事だと新たな面を知れました。」などの感想をいただきました。

看護師になろうと決めている方もいれば、看護師に興味はあるけれどどうしようか迷っている方、看護師以外の職種にも興味がある方など参加のきっかけは様々ですが、これからも一緒に楽しみながら看護師や医療従事者を目指す方々を増やし、応援していければと思います。